

9月

昭和55年

編集・発行 小田原市役所広報課 印刷 文化堂印刷株

小田原市 萩窓 300番地 〒250

昭和29年10月15日 第3種郵便物認可 毎月1日発行1部3円

人口 177,654 世帯 50,384 (8月1日現在)

広報

## おだわら

No. 365

お年寄りにふさわしい  
役割を考えましょう

## 経験と能力を生かして

働くこと生きがい

## 『高齢者生きがい事業団』スタート

## お年寄りの社会参加

今月は「敬老の日」、それに続く「老人福祉週間」と、お年寄りを対象にいろいろな行事や事業が行われます。今や我が国の平均寿命は、男が七十三・四歳、女が七十八・八歳と著しく伸び、いよいよ高齢化社会を迎えようとしています。こうした高齢化社会に対応するための施策は、国や地方自治体をはじめ社会的に大きな課題となっています。その一つに、高齢者の生きがい対策があります。

市ではその対策として、趣味やスポーツなどを通じて仲間づくりと健康づくりの推進を図っていますが、今年度はそれに加えて、お年寄りが豊かな経験と能力を生かして社会で働くことによって生きがいを高めていたための「高齢者生きがい事業団」を発足することになりました。

今回は、お年寄りの月の特集として、この事業団について紹介しましょう。

昨年九月、総理府は、我が国六十五歳以上の人気が一千万人を超えた、総人口に占める割合は八・九%に達したと発表しました。

本市では、今年四月一日現在で六十五歳以上の高齢者は、一万五千人で、市の人口の八・六%を占めています。この数字は、国連では六十五歳以上の人口の割合が七%を超える国を「老年の国」と区分していることから、我が国が既に高齢化社会に入ってきたことを示しています。

こうした高齢化社会にあって高齢者にとって一番望ましいことは、若々しさと健康を保持しながら生きがいのある生活を送ることであります。この「老年の生きがい」については、一つには個人としての対処と、もう一つには社会的な対応策が必要です。

そのため、市ではお年寄りが趣味やスポーツ、他の活動ができる場や機会を提供し、生きがいを高めることのできるよう対策を図っていますが、それも地域社会や家族のみなさんの協力とともに、お年寄り自身の主体性のある積極的な参加がなければ効果はありません。

また、お年寄りの生活を保障するものとして制定された「老人福祉法」の第三条には、「老人は、老齡に伴つて生ずる心身の変化を自覚して、常に心身の健康を保持し、その知識と経験を社会に役立たせよう努めるものとする」とあります。

つまり、お年寄りは体と心を大切にしていたくとも、ぎりぎりまで、一人借りり、一人借りよといわれるよう、長い人生で培われた経験と知恵を社会で役立ていただかなければなりません。

\* 参加を希望する理由としては、

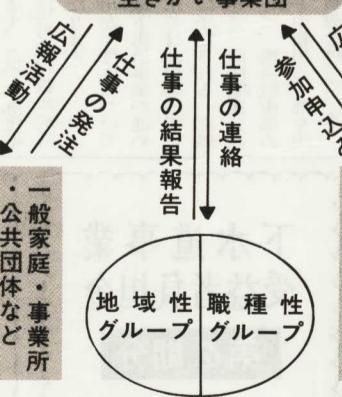
- 健康のため 二百九十五人（三・八%）
- 社会のために役立ちたい 百五

アンケート調査結果  
参加希望者は20%

## 健康と社会奉仕のために

## 会員募集は 10月15日から

## 『事業団の活動の流れ』

小田原市高齢者  
生きがい事業団



清水新田一六四  
太田孝之さん

## 隣近所と助け合つて

## 私の関東大地震体験記 15

「ドーン」という音と同時に揺れ始めました。地震だと言った。家族の声に外へ飛び出しましたが、一瞬、体は地面に倒れてしましました。辺り一面に地割れが走り、地割れの間からは噴水のように水が噴き上がっていました。朝方は大雨が降っていましたが、そのときの空は晴れ上がり、身を突くような暑さでした。川は真っ黒になり増水していました。川は真っ黒になり増水していました。

高等一年の私が学校から帰宅し、子守をしていると、一度に田橋は橋げたを利用して渡つて来たということでした。



家屋の復旧は助け合つて

いました。

家族は震動が緩んでいた間に堆(たい)肥や竹やぶに避難しました。大工の父は谷津のある家へ仕事に行っていたため、安否が気遣われました。やがて本人は弟子といっしょに軽で帰つて来て、家族を安心させました。父親では、乗つて行った自転車が県道の地割れにはさまれてしまつたので身を案じて置き去りにして、途中の壊れた飯田橋は橋げたを利用して渡つて

いました。倒壊した馬小屋の下敷きになり死んだ馬もありました。幸い我が家を含めて

協力しました。道具はお互いに持つてありました。地割れの間からは噴水のように水が噴き上がっていました。朝方は大雨が降っていましたが、そのときの空は晴れ上りました。父親がまたまた大工だったため、他部落までへも手伝いに行きました。地域ぐるみで協力しました。

実際地震が起きた場合、ます

貴重品は金庫などに入れる、そ

して地震に対し常に心の準備をしておくことが必要だと思

います。

し、子守をしていると、一度に

田橋は橋げたを利用して渡つて

来たということでした。

## 市民文化祭行事(9月下旬~10月中)

行事名	主催・主管	日 時	会 場	料 金
第27回市民文化祭 前夜祭	小田原市文化団体連絡協議会	9/30(火) 18:30~ 20:00	市民会館 小ホール	無
第22回 市民写真展	小田原地方写真連盟	10/9~10/12 9:00~ 18:30	市民会館 展示室	料
第44回 きつつき版画展	小田原きつつき会	10/12(日) 11:00~17:00	市民会館 大ホール	料
第12回 小田原 三曲会演奏会	小田原三曲会	10/18(日) 13:00~16:30	市民会館 大ホール	料
第29回 吹奏楽大会	小田原地区吹奏楽連合会	10/19(日) 9:30~17:00	市民会館 大ホール	料
第21回 謡曲大会	小田原謡曲連合会	10/23~10/26 10:00~19:00	市民会館 小ホール	料
第31回 いけばな諸流展	小田原華道協会	10/23~10/26 10:00~18:00	市民会館 展示室	料
第17回 鎌倉彫展	雅彫会	10/25(日) 18:00~21:00 10/26(日) 13:00~16:00	市民会館 大ホール	有料
第31回市民演劇祭 参加	小田原市民劇団 こゆるぎ座	10/25(日) 18:00~21:00 10/26(日) 13:00~16:00	市民会館 大ホール	無料
第28回公演	第31回書道展	10/30~11/2 10:00~18:30	小ホール 展示室	料



## \*前夜祭\*

## 文化映画の夕べ

9月30日

文化映画の夕べ

大きな内容で、九月三十日の前夜祭を皮切りに約一か月間、市民会館を会場に開催することになります。

今年は、この市民文化祭も一千七回目を迎え、いよいよ充実し盛りました。

市民文化祭の開幕を飾る前夜祭には、文化映画の夕べとして「ループル美術館」を上映します。

この映画は多くの美術品が収蔵されているループル美術館の内

部を撮影したもので、必見に値す

◆受講資格

館の成人学校で楽しいひとときを

お過ごしください。教養、趣味、

生活技術などが、大ぜいの仲間と

和気あいあいのうちに身に付ける

ことができます。

友達も誘つて奮つて申し込みく

ださい。

◆受講料

一科目 五百円

十六歳以上の人、学生・生徒は



## お年寄りの趣味講座

## 好評の“民謡、再開講



前回は定員を超える人気で再度開講する「民謡」の部

\* 中型小売店舗新設(建物の増設または用途変更により中型小売店舗になる場合を含む)の申請をしようとする場合の届出の時期は、当該申請をしてよとする日の六ヶ月前まで。

\* 建築確認の申請をする場合は、建築確認の申請をする場合は、当該申請をしてよとする日の六ヶ月前まで。

\* 小田原市中型小売店舗出店等指導要綱は、中型小売店舗の出店等による商業上の問題について指導を行うため、昭和五十三年二月に制定したものですが、このたび、その一部を改正しました。

改正後の要綱の概要是次のとおりですが、これは、正常な商業環境の確立を図り、市民生活の健全な発展に資することを目的とするものとのことです、みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

\* 中型小売店舗とは、一つの建物であって、その店铺面積の合計が二〇〇平方㍍以上五〇〇平方㍍以下の小売店舗をいいます。

\* 中型小売店舗を新設(建物の増設または用途変更により中型小売店舗になる場合を含む)し

ようとする場合の届出の時期は、當該申請をしてよとする日の六ヶ月前まで。

\* 市内に一年以上継続して事業を営む中小企業者(従業員が百人未満の申請をしてください。

\* 補助を受けることのできる方: 営業員一人一ヶ月の掛金円を補助対象限度額とし、次の割合です。

市税を完納していることが条件です。

補助の内容は……

◆ 従業員一人一ヶ月の掛金円を補助対象限度額とし、次の割合です。

市内に一年以上継続して事業を

営む中小企業者(従業員が百人未満の申請をしてください。

\* 補助を受けることのできる方:

### まずは網による捕獲作戦から開始

ヘドロの中でボートは「田舟」のように使われた



コイは98センチもある大物も



## 話題の広場

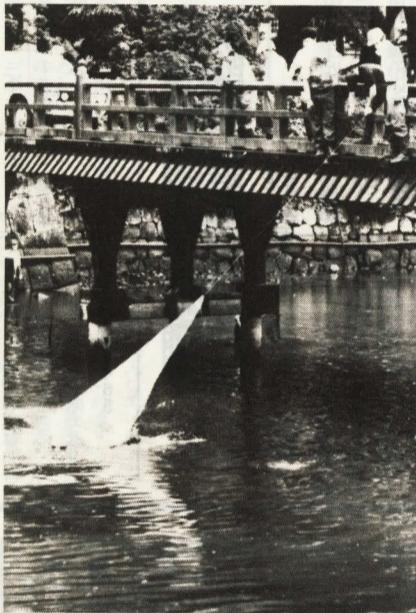
# 進むお堀の浄化事業 コイの捕獲始末記

今、小田原城跡のお堀の淨化事業が進められている。

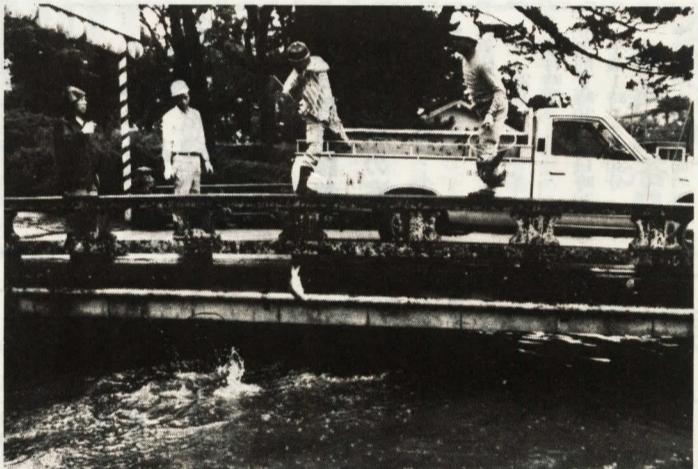
た魚類の捕獲だけにありとあらゆる手段が展開されたが、悪戦苦闘の結果は、コイ一千七百六十七匹、ウナギ百十三匹、ナマズ五十一匹、それに金魚十一匹と、目算とは大違ひ。

この種の魚にとって絶好の生息場所と考えられていただけに意外な成果ではあつたが、つまりはこのお堀、外観ばかりでなくコイの住む所としても好ましい状態ではなかつたらしい。

なにはともあれ、このお堀の淨化は、コイにとつても迷惑どころか歓迎すべき事業であるといえるようだ。



投網(とあみ)による方法もとられた



ヨイはひとまず藤棚前の堀と水島の池へ仮転居

チビッ子もゲリラ作戦で協力?

◇ 変更案の内容  
第一号公共下水道（酒匂川西岸）  
で久野・荻窪・城山・板橋・日暮里を下水道の処理区域に含めます（  
いうものです）

◇ 総覧期間 九月二日（火）～九月十六日（火）

意見のある方は意見書を縦覧期間

## 都市計画の 変更案を縦覧

◇場所 市役所内四階選挙管理委員会事務局室

選挙人名簿

The logo for 'もしらせ' features a stylized illustration of a woman with dark, curly hair, smiling and playing a six-string acoustic guitar. The background is a white space with a decorative border consisting of a wavy, hatched pattern.

◇問い合わせ 都

## 母子家庭等 児童手当の支給

9月の保育相談

区域	担当業者		地区名
	業者名	電話	
A プロック	株 井 戸 清 商 店	22-9146	早川、南町、本町、城山4丁目、城内、宋町、北 1-2、3丁目、板橋南板橋、入生田、風祭
	光 南 管 工 業 (南)	22-8916	
	三 幸 設 備 工 業 (南)	23-3100	
	(株) 田 中 組	23-1681	
	花 形 水 道 設 備 工 業	24-1242	
B プロック	株 小 田 原 衛 生 工 業	35-3224	中町、宋町4丁目、浜 町、東町、岸町
	齊 藤 管 工 (株)	34-4236	
	東 海 気 热 (株)	34-0201	
	(株) 西 川 組	34-2424	
	府 原 水 道 工 業	34-0817	
C プロック	株 二 見 工 務 店	22-5141	
	影 山 工 業 所	34-8636	
	(株) 熊 沢 工 務 店	34-2511	城山1丁目、2・3丁目、 上字4丁目、芦塚、尾 町、片桐細田、久野、北 ノ泽、府原、六郡新田 新穴、穴守、谷津、池 上、清水新田の一部(狩 野川から西の区域) 多 古、飯田間の一部(狩 野川から西の区域)
	三 荒 管 工 業 (株)	34-6816	
	杉 山 水 道 工 業 (株)	34-2955	
D プロック	土 屋 水 道 工 業 (南)	34-0864	
	(株) 中 津 工 業	34-0379	
	株 足 柄 設 備	37-2311	
	植 木 水 道 工 業 (株)	36-0668	蓮正寺、中曾根、清水 新田の一部(狩野川から 東の区域) 新屋、柳原 坂、坂ノ内、稻田、小台 坂、飯田間の一部(狩 野川から東の区域) 曾比
	(株) 内 木 水 道 工 業	36-3412	
E プロック	黒 田 水 道 工 業	36-0487	
	(株) 西 島 設 備 工 業	36-1761	
	(株) 中 央 工 業	36-4435	
	(株) 若 尾 管 工	37-3366	
	朝 日 配 管 (株)	47-2338	
F プロック	出 雲 净 水 (株) 小 田 原 営 業 所	48-0729	酒匂、小八幡、国府津 阪泉、下新田、中中新 田、新田、鴨宮、中里、 前川の飛地、下越、矢 作、成田、高田、千代 延溝、桑原、西大友、 鬼柳、下大井、東大友 別堀、田島、舞戸、下 曾我、水塚
	(株) 相 谷 設 備 工 業	47-6591	
	杉 本 設 備 工 業	36-5515	
	(株) 西 山 工 務 店	47-2605	
	富 設 工 業 (株)	48-1234	
G プロック	大 日 設 備 工 業	48-4877	
	株 大 日 設 備 工 業	48-4877	





小田原城天守閣

復興20周年記念特別展

## 戦国の武将展

年記念事業として昭和三十五年五月に復興されて以来、名実ともに市民のシンボルとして親しまれ、今年で二十周年を迎えるました。

これを記念して戦国武将の遺品、関係資料等の特別展を開催しますので、是非お出掛けください。

△会期 昭和五十五年十月十七日～十一月十六日(一ヶ月間)

△会場 小田原城天守閣一階

○時間 午前十時～午後五時

○申込 社会教育課(電話③1711)へ、直接または電話で申込みください。

○その他の参加費無料・小雨決行

◆講師 立木望隆先生

◆謡曲会

◆申込 社会教育課(電話③1711)

◆募集人員 五十人(貸切りバス一台)

◆集合 午前八時二十分

◆御感の藤(藤棚)

◆時間 午前八時三十分～正午

◆会場 尊徳記念館前庭

◆併会

◆農産物直売

◆会場 尊徳記念館講堂

◆併会

◆期日 九月二十八日(日)

◆時間 午後一時～四時

◆会場 尊徳記念館前庭

◆併会

◆期日 九月二十九日(日)

◆時間 午後一時～三時

◆会場 尊徳記念館講堂

◆併会

◆期日 九月二十九日(日)

◆時間 午後一時～三時

◆会場 尊徳記念館前庭

◆併会

◆期日 九月二十九日(日)